

## 1. 高齢者の運転による事故防止策は

高齢社会が急速に進む中で、高齢者の運転による死亡事故など悲惨な交通事故が相次いで発生している。事故を起こせば、被害者の命が絶たれるなど、重大な被害が生じて遺族を苦しめるとともに、加害者になった高齢者も責任を問われ、本人やその家族も深く傷つくことになる。

今年の4月に発生した東京・池袋の母子死亡事故や5月の千葉県市原市の公園での事故などが報道される中で、加害者家族が加害者の肉体の衰えや運転能力の低下などを感じ、運転を控えるように促していたことがわかる。それは、事故を事前に防ぐことができたということである。

本町でも自分の運転能力の低下を感じている高齢者や、それを心配している家族の方々の話を耳にする。皆、運転免許の返納も考えているが、返納しない一番の理由は移動手段が不便になることだという。

本町ではこれまで大きな事故の事例はないが、今後、事故が発生しないために、運転免許を返納しやすい環境の構築が必要と考え、次の事項を問う。

- ① 運転免許自主返納に関する現状把握は。
- ② 運転免許自主返納促進への見解と取り組みは。
- ③ 運転免許自主返納サポート制度の構築を。